

令和4年度

尼崎市防火協会事業報告

令和4年度に実施した事業は次のとおりである。

○推進実施事業

1 防火防災思想の普及啓発

2 地域救命サポート事業への参画促進

3 災害に強いまちづくりに対する調査研究の推進

4 火災予防事業

5 消防活動事業

6 危険物の安全普及啓発事業

7 表彰

8 会 議

- (1) 消防情報の提供
- (2) 各種研修会等の実施
- (3) 防火広報用資機材の活用
- (4) 火災予防運動の推進
- (1) 令和4年度安全功労者内閣総理大臣表彰
- (2) 令和4年度安全功労者総務大臣表彰
- (3) 令和4年度兵庫県危険物安全・安心大会
- (4) 令和5年尼崎市消防出初式
(令和5年1月8日(日))

- (1) 理事会・総会(令和4年6月29日(水) 中小企業センターにて開催)
- (2) 役員会
 - ア 第1回(令和4年6月29日(水) 中小企業センターにて開催)
 - イ 第2回(令和4年10月12日(水) Web会議にて開催)
 - ウ 第3回(令和5年4月25日(火) 防災センターにて開催)

9 支部活動

※令和4年度尼崎市防火協会事業報告及び令和5年度尼崎市防火協会事業計画の詳細については左記の冊子を御参照ください。

令和4年度事業報告及び決算書
令和5年度会費算定基準(案)
令和5年度事業計画(案)及び予算書(案)

尼崎市防火協会

※令和5年度の理事会・総会で配布した冊子です。

令和5年度尼崎市防火協会事業計画

○基本方針

近年、住民の安全安心を脅かす特殊な災害や地震・台風などの自然災害は激甚化・頻発化し、全国各地で多くの人命と財産が失われている。また、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震への対策など、地域住民の防火防災への関心は一段と高まりをみせており、われわれ関係団体に寄せられる期待はますます大きくなっていく。

このような状況の中、会員事業所は防火防災管理体制や危機管理体制の強化を図るだけでなく、災害等が発生した場合には迅速かつ的確に対応し、被害を最小限にとどめられるよう、事業者・消防関係機関・住民が一体となり、地域防災力の向上を図ることが重要である。

本会は、昭和22年4月に一般工場を中心とした65事業所の参加のもと発足し、大きく発展を遂げてきた。引き続き会員事業所の安全と地域住民が安心して暮らせる地域づくりに資するため、以下の事業を推進する。

○推進事業

1 防火防災思想の普及啓発

2 地域救命サポート事業参画促進

3 災害に強いまちづくりに対する調査研究の推進

4 火災予防事業

5 消防活動事業

6 危険物の安全普及啓発事業

7 表彰

8 会 議

9 支部活動

- (1) 自衛消防隊の充実強化
- (2) 消防活動体制強化への協力
- (3) 消防諸行事
- (1) 自衛消防隊の充実強化
- (2) 消防活動体制強化への協力
- (3) 消防諸行事
- (1) 基礎防火講習
- (2) 危険物取扱者養成補完講習
- (3) 自衛消防隊消防操法大会
- (4) 自衛消防隊員研修
- (5) 各種災害対策研修
- (6) 危険物安全取扱研修
- (7) 支部報等の発行、防火標語優良防火施設、防火対象物等の見学会
- (8) 地域の自主防災組織との連携
- (9) 応急手当普通救命講習
- (10) その他防火防炎行事
- (11)

令和5年度 新役員紹介

令和5年6月5日、尼崎市中小企業センターにおいて、尼崎市防火協会の理事会及び総会が開催され、次の方々が令和5年度の役員に選ばれました。

会長



神鋼鋼線工業株式会社 尼崎事業所
執行役員尼崎事業所長 神保鉄男

監事



A G C株式会社 関西工場尼崎事業所
関西工場長 亀苔泰夫

副会長



住友ベークライト株式会社 尼崎工場
常務執行役員尼崎工場長 文田雅哉

中支部長



岩谷瓦斯株式会社 尼崎工場
工場長 市岡耕次

副会長



日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所
阪神地区(神崎)
阪神総務室 濱仲誠

東支部長



富士フィルム和光純薬株式会社 大阪工場
大阪工場長 柿沢政彦

西支部長



日鉄ステンレス鋼管株式会社 尼崎工場
尼崎工場長 稲葉公典

危険物安全委員会委員長



日油株式会社 尼崎工場
工場長 荊尾康浩

北支部長



神東塗料株式会社
尼崎工場長 中坊貴政

監事



塩野義製薬株式会社
CMCイノベーションセンター
事業所長 廣門典昭

令和4年度 新入会員紹介

2022秋の号発行以降、新たに入会された事業所を紹介します。

中支部

・株式会社コノミヤ 尼崎店

北支部

・株式会社PF

・株式会社朝日工業



令和4年度支部活動の記録

中支部

- 7月19日 自衛消防隊隊員養成講習会
- 9月 9日 優良防火施設見学会(web開催)
- 10月13日 中支部消防担当者会優良消防担当者等表彰式
- 10月28日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第2回)
- } (YouTube配信)
- 11月26日 }
- 11月 9日 支部報「なかしぶ」発行
- 11月25日 危険物取扱者等実務研修会
- 2月12日 中支部消防担当者会特別講演会 (web開催)
- 2月17日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第3回)
- } (YouTube配信)
- 3月 5日 }
- 2月21日 基礎防火講習

東支部

- 7月28日 自衛消防隊救護班育成研修会
- 10月 8日 東支部消防担当者会優良消防担当者等表彰式
- 10月28日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第2回)
- } (YouTube配信)
- 11月26日 }
- 11月25日 危険物取扱者等実務研修会
- 12月12日 支部報「支部ニュース」発行
- 2月 8日 自衛消防隊研修会
- 2月17日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第3回)
- } (YouTube配信)
- 3月 5日 }
- 2月21日 基礎防火講習

西支部

- 7月14日 自衛消防隊員研修会
- 8月 1日 防火標語の募集
- 10月28日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第2回)
- } (YouTube配信)
- 11月26日 }
- 11月25日 危険物取扱者等実務研修会
- 12月20日 支部報の発行
- 2月17日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第3回)
- } (YouTube配信)
- 3月 5日 }
- 2月21日 基礎防火講習

北支部

- 10月28日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第2回)
- } (YouTube配信)
- 11月26日 }
- 11月25日 危険物取扱者等実務研修会
- 12月 7日 優良防火施設見学会
- 12月21日 支部報・会報No.61 発行
- 2月 3日 尼崎北自衛消防連絡協議会出初式
- 2月17日 } 危険物取扱者養成補完講習 (第3回)
- } (YouTube配信)
- 3月 5日 }
- 2月21日 基礎防火講習

令和4年度 (第57回) 自衛消防隊消防操法大会

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、諸般の事情を考慮し、自衛消防隊消防操法大会を中止致しました。

しかしながら、コロナ禍においても自衛消防隊の役割は不変であり、有事の際には第一線で事業所の人命、財産を守らなければなりません。自衛消防隊員の知識と技術の向上を図るため、同大会の各種操法に係る要領等をまとめた動画については、尼崎市防火協会 You Tube チャンネルに配信しておりますので、是非ご視聴いただき、自衛消防隊の育成に活用してください。

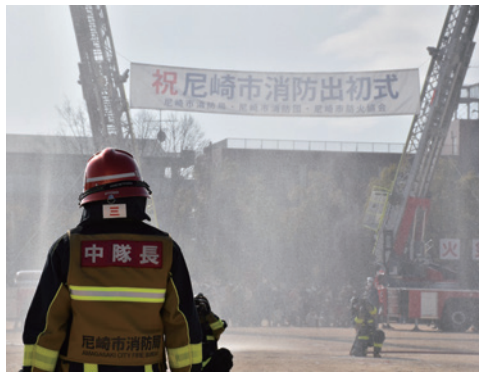
令和5年尼崎市消防出初式



令和5年1月8日（日）尼崎市立中央中学校



防火協会会長表彰：日鉄ステンレス鋼管株式会社 尼崎工場



第2部の式典では、一般消防協力団体（者）として消防長より4事業所が表彰されました。また、優良消防推進団体（者）として防火協会会長が1名と3事業所に表彰しました。（※詳細は別添冊子3頁のとおり）



(1) 【消火器操作】
<https://youtu.be/W5jAW2TRdto>



(2) 【屋内消火栓操作】
<https://youtu.be/OJFR8L0Jtd4>



(3) 【屋外消火栓操作】
<https://youtu.be/L1dBjJglWis>



(4) 【小型動力・自動車ポンプ操作】
<https://youtu.be/4Yeq40ekrJg>



QRコードを読み取っていただき、ご視聴いただけます。

本コーナーでは、令和2年から新型コロナウイルス感染症が拡大し、様々な制約がかかる中、勤務体制等の問題点や事業所を守るための取り組み、対策等について広く紹介することで、事業所間での情報共有や会員相互の連携を図ることを目的としております。



防火防災

リーダーの発掘！

介護老人保健施設なにわローランド 事務長 飯田 昌美

Q 世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大しています。御社ではどのような対策を行っていますか？

当施設は、尼崎中央病院を母体とした高齢者福祉施設です。施設内には医師・看護師・介護職員等の専門スタッフが充実しています。これまでも、季節性インフルエンザやノロウイルスの流行を経験しており、そこで培ったノウハウはありました。

とは言え、新型コロナウイルスは未知のウイルスであったが故に、政府からの発令を逐一注視しながら、手探りの中、対策を講じて参りました。基本的な感染対策（手洗い、マスク、フェイスシールドの着用、日々の体調確認、換気、消毒）はさることながら、外

部との接触を遮断（面会制限、実習生の受入中止、イベントの中止）、職員の行動制限（食事場所・休憩場所の固定、対応職員の固定）、設備面の改善（スタンド式検温器・空気清浄機・アクリル板の導入等）など、国やメディアからの情報を基に、各部署連携の上、ありとあらゆることを行ってきました。

Q それはいつ頃から始めましたか？

日本で初めて感染者が出た頃（令和2年1月）には感染対策上必要な消耗品の整理等を行い、令和2年2月には感染対策を始めました。その後、基本的な感染対策は継続しつつ、世情や感染者数の動向を基に、面会制限を緩和したり、研修や実習をリモートで実施

したり、いわゆる新しい生活様式に準じながら、対策に緩急をつけていました。

Q 様々な制約がかかる中、実際に勤務して感じたことを教えてください。

世界中の皆さんがそうであったと思いますが、戸惑いと不安の日々であったと感じています。未知のウイルスが猛威を振るい、暗中模索のまま、しかし施設の運営は進めていかなければいけない状況の中で、職員は戸惑いの連続だったと思います。

そして、利用者様はもちろんの事、ご家族の皆様も常に不安な思いで過ごされていたと思います。そんな不安の一端が、コミュニ

ケーションの節々にも現れていたように感じます。運営を進めていく中で、厳しいお言葉を頂戴する事もありましたし、逆に応援の声を掛けて頂く事もありました。平時ではない状況下で、利用者様の生活の質を維持し、一方で職員の負担を慮る、このバランスを保つことは容易ではありませんでした。

Q 普段とは違う環境で勤務しなければなりません、事業所で災害が発生した場合などの自衛消防隊の活動要領等について、どのように取り決めていますか？

令和3年度に介護保険制度の改正があり、全ての介護サービス事業所において、業務継続計画（B

CP）の作成が義務付けられました。より実効性のあるBCPに仕上げていくため、備蓄（保存食）の量とメニューの見直しを行い、災害時用簡易トイレを新たに導入しました。コロナ禍で不自由な点が多い中でも防災訓練、消防訓練は感染対策を十分に行った上で実施してきました。三密に配慮しつつ可能な限り通常とおりの訓練としました。

BCPとの連動を意識した訓練を心掛けた結果、感染症対策と自衛消防活動は両立して継続できるという自信につながったと思います。

Q 「自分たちの職場を守るために、自分たちでできること」は？

BCPの作成に携わり、その上で新型コロナウイルスの感染症対策を行ってきたことを踏まえ、正しい決め事を作り正しく守り続けることの大切さを実感しています。各々が自分自身の体調不良に早めに気付いて上司に申告する、簡単なことのように、徹底した報連相の風土がなければ難しいことだと思います。自分たちの職場を守るために、職員の意識に働きかけて、その空気を維持していくこと、この気持ちを大切にしていきたいと思います。



今回の取材にご協力いただきました介護老人保健施設なにわローランドの飯田さん本当にありがとうございます。コロナ禍においても、地域社会を担う防火防災リーダーとしてのご活躍を祈念致しております。

株式会社神戸マツダ 尼崎店

尼崎市久々知西町2丁目17番6号
電話 06-6427-0551

株式会社神戸マツダ尼崎店は、昭和24年に弊社の拠点1号店として開業し、創業80周年の令和4年6月に新店舗にリニューアルオープン致しました。

当社は5HAPPY(5つの幸

せ)御客様、社会・環境、協力者、社員とその家族、地域の5つの幸せを理念とし、みんなに寄り添い付加価値を提供するモビリティカンパニーを目指しております。

防災活動では異常気象や不測の事態に備え、常日頃から防災意識の向上を図っており、年2回の各種訓練(火災・地震・津波・洪水等)や避難経路の確認による命を守る行動を実践しております。また施設にはAEDを設置しており、店内の御客様だけでなく店舗周辺で発生した緊急事態にも貢献します。



この地域に拠点を置き御仕事をさせて頂いている事に感謝し、消防局並びに地域の皆様の御協力を得ながら、「安全」「安心」な地域づくりに貢献出来る様今後も努めて参ります。

はんどしゅいく

Handshake

株式会社グリーンテック 尼崎営業所

尼崎市額田町17-1
シャトー福2F
電話 06-6492-7000

当社は自動車関連企業を中心に製品の検査・選別・修正・加工業務等を行い、モノづくり企業の品質と安全を支える事業を全国に展開しております。1996年の創業以来、「社会に安全と安心を提供すること」を理念に掲げ、関西圏の中核として2012年に尼崎営業所を開設し、お客様の品質に貢献すべく取り組んでおります。

近年、自然災害による被害が増加する中、当社では2021年、災害による人的・資産被害を最小限に抑える事前対策について「事業継続力強化計画」の認定を取得し、さらにBCP(事業継続計画)策定を急務と捉え、事業の復旧・継続の指針策定も推進しております。

また尼崎営業所では、地域住民の方やご来社のお客様及び従業員

に方が一のことがあった場合の救命器具として、「AED(自動体外式除細動器)」を設置しています。社員が有事の際に混乱することなく、自分の身は自分で守れる「自助」力を高め、自社事業の復旧・継続と共に地域における「共助」の一端を担う企業として、地域社会の安心安全に貢献できるように今後も努めて参ります。



すいぞく

「たすけあい・安全・安心」の 拠点であるために

生活協同組合コープこうべ コープ塚口

店長 山田 皓貴



生活協同組合コープこうべは生協の父・賀川豊彦の指導のもと、1921年に誕生しました。1人ではできない事でも、みんなの力を合わせて、願いや夢をかたちに

する。コープこうべは「愛と協同」の精神を原点に組合員や地域のくらしを支え、豊かにする事業や活動を展開しています。

現在コープこうべは、兵庫県内（大阪一部地域）において、組合員数約174万人の全国では有数の大きな組合員組織です。

コープこうべのイメージといえば、皆さんは何を浮かべますか？ その様な質問に対して皆さんは宅配のイメージを浮かぶ方が多いかと存じます。

宅配の歴史は、1921年組合員の自宅を1軒1軒訪ねて歩く「御用聞き」から始まっています。自転車で街中を走り必要なものを聞いて回る姿から、「購買さん」と呼ばれ親しまれました。

宅配事業は現在、自宅まで届ける「個人宅配」グループで集まる場所に届ける「協同購入グループ」注文した商品をお店で受け取る「めーむひろば」の3つを展開しております。

店舗事業は、1931年にセミセルフサービス式の店舗を芦屋にオープンしたことを皮切りに今日までに140店舗展開しております。コープこうべの店舗が提案するのは、穏やかな健康生活。くらしの真ん中にある「食」を中心に組合員の暮らしをサポートしています。

そのような中、コープ塚口は、1968年5月3日に開設以来、54年以上、地域の皆様と一緒に歩んでまいりました。当店に関する最近の話題といえば、「てまえどり」が2022年の新語・流行語大賞トップ10に選出されたことです。「てまえどり」とは、商品棚の手前にある値引き商品や、販売期限に迫った商品の積極的な購入「てまえどり」を行うことで、販

売期限切れによって発生する食品ロス削減を目的としています。実はこの「てまえどり」は、コープ塚口の組合員活動から誕生しました。SDGSの観点から近年注目されている「てまえどり」をお買い物の際にはぜひ、よろしくお願いたします。

これからもコープ塚口は、地域のくらしの安全安心の拠点として歩んでまいりたいと思います。

